

いきいき! マイタウン



(株)きもとが育てたダリア畑 (北勢町京ヶ野新田)

まちで起こった出来事や
気になるあの人を紹介します。

夢を持つ大切さ語る

ようこそ先輩 in 藤原小・藤原中

11月9日(金)、藤原中学校の卒業生でJAXA(宇宙航空研究開発機構)で活躍する山中浩二さんが、母校で講演しました。

山中さんは宇宙ステーション補給機「こうのとりの」開発に携わり、地上にいる技術者たちの総指揮を担う初代フライトディレクターに就任。NASAから表彰を受けるなど、世界で活躍しています。

講演では宇宙までの距離をいなべを中心にして例えたり、宇宙飛行士の生活やロケットの仕組みを説明したりと、興味が湧くように話していました。児童や生徒も積極的に質問するなど充実した時間を過ごせたようです。

山中さんは「月面着陸する日本人初の宇宙飛行士が藤原から誕生したら嬉しい」と話していました。



1



1. 宇宙の魅力を語る山中さん
2. 藤原中学校の校歌でお礼
3. 未知なる宇宙の話に興味津々な児童たち



2

自分の成長を振り返る機会に

大安中学生が保育士体験

11月5日(月)から9日(金)まで、大安中学校の1年生が保育士体験に取り組みました。地域の保育園を訪れて幼いころを振り返ることで、家族や地域の人に感謝の気持ちを感じるとともに、将来の目標を考えるヒントになればと、中学校の学習として毎年行われているものです。

石樽保育園では、中学生が園児の前で得意なことを披露したり、各クラスと一緒に遊んだりしました。手品を披露して園児と遊んだ水谷珂倭斗さんは「とても楽しかった。園児が興味をもってくれて嬉しかった」と話していました。



2



1. 絵本の読み聞かせをする中学生
2. 「U.S.A.」のダンス披露で園児が大喜び
3. 手品にビックリ!
4. みんな笑顔。すぐ仲良しに

にぎわいの森の活性化に役立てて

太平洋セメント(株)が寄附



平田さんと市長

10月29日(月)、太平洋セメント株式会社から市に、にぎわいの森の活性化のための寄附金100万円が贈呈されました。

創立20周年を迎える同社は、若者に市の魅力をPRし定住を促進するにぎわいの森の役割に共感し、寄附へとつながりました。

藤原工場工場長の平田賢一さんは「この寄附だけでなく今後も地域に根ざし、共生できる企業でありたいです」と話していました。

市長は「社員の皆さまは消防団員など長年地域に貢献していただいている。寄附はより地元への効果が高い方法で活用したい」と感謝を伝えました。

手作りの雑貨や食べ物が集合

おうち de マルシェ

10月31日(水)、員弁町上笠田のSweets Lab#1090でマルシェが開催されました。近隣市町の8店舗が出店し、手作りのアクセサリーや自家焙煎したコーヒー、無肥料・無農薬の野菜などが出品されました。

来場者の出口加奈さんは「身近なところでおしゃれなイベントが開催されていて、驚きました。市内のいろいろな所でマルシェを開催して欲しいです」と話していました。

1.3. おいしい食べ物を出品
2. シンプルで使いやすいアクセサリー
4. マルシェの様子。ハロウィンの仮装でマルシェを楽しむ人も



1



2



3

中部大会へ出場

いなべ総合演劇部 県で最優秀賞

12月23日(日)～26日(水)に福井県鯖江市で第71回中部日本高等学校演劇大会が行われます。10月24日(水)、大会への出場報告のため、いなべ総合学園高等学校の演劇部が市長を訪問しました。同部は8月9日(木)、10日(金)の第63回三重県高等学校演劇大会で最優秀賞の三重県知事賞などを受賞し、中部大会へ進むことになりました。

部長の手塚鈴子さん(3年)は「まだ県大会以上に良いものをらせる。中部で1番になるという気持ちで出場したい」と意気込みを語りました。

県大会の受賞作品は架空の演劇部の人間関係を描いたもので、脚本は部員が創作しました。中部大会も同じ作品で出場します。



【訪問者のコメント(写真左から)】
手塚さん(コメントは本文中)、宮崎奨英さん(演出、2年)「役者全員が常に舞台上にいる演出で、せりふのある人をどう目立たせるか苦労した」、大菅明奈さん(照明、3年)「県大会直前に照明の色を変更したことなどでミスをした。中部大会でリベンジしたい」、多湖奈都美さん(音響、3年)「雰囲気合う音を選ぶことや観客に気付かれず効果のある音を出すことが大変」